第１１回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

◆開催日時：平成２９年５月１７日（水）　１８：３０～

◆開催場所：登別市役所２階　第２委員会室

◆出席部会員：部会長　　長部　正之

　　　　　　副部会長　谷﨑　博美

部会員　　西尾　拓也

　　　　　　　　　　　荒川　昌伸

　　　　　　　　　　　対馬　秀樹（協働推進庁内委員会）【都市整備部次長】

　　　　　　　　　　　南　　三明（協働推進庁内委員会）

【都市整備部都市政策Ｇ総括主幹】

◆欠席部会員：部会員　　中川　信市

　　　　　　　　　　　山下　克彦

◆事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働Ｇ総括主幹】

　　　　　　　　　　　野畑　衣里子【市民生活部市民協働Ｇ主任】

◆その他：　　　　　安部　直也【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

　　　　　　　　　　　蓬田　匡俊【教育部社会教育Ｇ生涯学習担当主査】

◆議題：ウォーキングマップについて

**≪部会長≫**

　前回の部会の中で、ウォーキングマップについての意見が出されました。

　本日の会議では、一つの方向性を決めることとして、社会教育グループの職員にお越しいただきました。

**≪事務局≫**

　まず、社会教育グループから、ウォーキングマップの進め方について説明していただきます。お願いします。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

　社会教育グループの現在の状況とこれまでの経緯について簡単に説明させていただきます。

　今あるウォーキングマップは、市で平成２２年度から平成２４年度まであった事業の１つで「明日のまちづくり特別枠」というものがあり、それがきらり健康ふれあいウォーキングでした。

それを社会教育グループが主となり、ＮＰＯ法人健康保養ネットワークに委託して作成したものがこのマップになります。

事業の目的としては、市民が気軽にウォーキングを行うことにより、運動習慣の継続や地域サークル化に繋げて生涯スポーツの振興と健康増進を図ることを目的とした事業と書いてあります。

社会教育グループのほか、環境対策グループ、健康推進グループ、国保・医療給付グループの４つのグループで連携してマップを作成し、マップを作りながらウォーキングの講習会を実施してきました。

事業自体は平成２４年度で終了しましたが、その時に作成したマップが今残っているという事になります。

このマップを市民会館等に設置し、必要な方に配布していましたが、一部のマップの残数が少なくなってきたので、増刷した方が良いのではないかとなり、新たに作成する予算は無いので、最小限のリニューアルを増刷に合わせて行っていければということになりました。

コース自体は、カロリー計算等も既にされており、既存のコースもたくさんあるので、使えるものはそのまま使用し、９種類のマップを３つの地区（登別地区、幌別地区、鷲別地区）に合わせて、３種類のマップにしたいなと考えていました。

Ａ３見開きのものになる予定なので、他の色々な情報については全てを掲載することはできなくなるのでマップを中心とした物になると思います。

基図については業者で用意していただけることになっており、３種類すべてを繋げられるかはわかりませんが、それを基にして必要なデータを精査しながら落とし込んでいくようなイメージでいました。

そのタイミングで、この都市調和部会でマップをリニューアルするという動きと重なったものですから、予算と時間が限られており、予算上は社会教育グループに計上されていますが、このような機会ですので、委員の皆さんの意見を取り入れられるものは取り入れながら良いものにできればと思っていました。

**≪部会長≫**

ありがとうございます。

このような予定ということで、前回作成にかかる資料を頂いていたのでいくつかアイデアを出していました。

例えば、スタートとゴールにＱＲコードの看板等を設置しておいて、スマホから自動的にメールのようなものが送信されて、行った所に対するポイントが積算されたり、マップ以外の情報を省くのではなくＱＲコードにして役所のサーバー等に置いておき、スマホ等で見れたり、写真だけではなく動画にしたり、ＡＥＤの設置場所をお知らせしたり、登別ローカルウィキの機能を付けたマップにした方が良いのではないか等と話し合っていました。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

　ＱＲコードについては、容量的なものの確認はとっていませんが、写真の掲載や動画もある程度の物は載せていけると思います。

プラスアルファの部分については、新たな構成要素にするとなると現行予算の中では難しい部分が出てくるのではないかと思います。

**≪副部会長≫**

予算の範囲内で収まるものなのでしょうか。

予算が決まっているので、それに合わない話をしても意味がないと思います。

今の予算でどこまでならできるというものはありますか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

あくまでもマップのリニューアルという部分の予算でしか無いので、先ほど部会長のお話にあったような、スタートとゴールにＱＲコードの看板等を設置する予算までは無いと思っていました。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

マップにＱＲコードを載せることは可能だと思います。

その情報を委託するのではなく、別な形でお金のかからない方向でということは考えられるのかなと思います。

その時間の部分や、誰がどのように作成するかということが問題になってくると思います。

**≪副部会長≫**

ここまできたら、そこまできちんと話をしておかないと、実現できなくなってしまうと思います。

**≪部会長≫**

　前回の会議でも色々とアイデアは出ました。

　例えば、写真コンテストを行い、ある場所に行ってそこをかざすと四季折々の景色がみられるというような話をしていました。

**≪副部会長≫**

ＱＲコードを載せるのは良いとして、実際に載せたときのお金はかからないのですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

市でサーバーを持っているので、お金はかけずにできると思います。

**≪事務局≫**

地図を作って、その図面を変えるということについてはある程度融通が利くと聞いています。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

コース等については、そのまま今のマップのものを使用します。

印刷業者に確認したところ、基図となる白図みたいなものが今月中くらいに準備できるとのことでしたので、それを見てもらい、具体的にアイデアを出していただければと思います。

**≪部会員≫**

業者でコース等をある程度確認してくれるのですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

確認するとのことでした。

**≪部会長≫**

前回気づかなかったのですが、貴重種のデータ等を載せても良いのですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

貴重種の件については、環境対策グループで別に同じような散策路か何かに載せていたものをこのマップにも使用しています。

もう一度載せる場合は所管部署に確認します。

**≪部会員≫**

これだけ大雑把な載せ方なら良いかもしれませんが、荒らされたり、悪いことに使われる可能性もあるので詳細には載せない方が良いかもしれませんね。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

ＱＲコードについては、どのような載せ方をするかということを考えた方が良いですね。

ポイントの写真を載せることもできますし、エリア全体を載せることもできます。

**≪部会員≫**

ＱＲコードにすると、観光客用にも利用されますね。

**≪部会長≫**

印刷費を削って、ＱＲコードのシールを作成するなどし、駅やコープ等に貼らせてもらえると、観光客が利用できますね。

**≪庁内委員≫**

このような話になると、ウォーキングマップではなくなってしまします。

観光の話になってしまいますね。

**≪部会員≫**

市民向けでも、自然や歴史、文化とリンクさせると歩くのが楽しくなると思います。

**≪部会長≫**

デジタルデータにしたら無限に情報が入るので、骨格を今年度作るような形にして、市民や観光客の意見を聞きながら足し算していくマップということもできるのではと思います。

そのためには、きちんとルール作りも必要だと思います。

**≪副部会長≫**

マップはマップで進めておいて、今後、観光の視点で取り組めば良いのではないですか。

**≪部会長≫**

何年かかけて成長していくマップというのも面白いかもしれないですね。

**≪事務局≫**

登別ウィキがそのような形になっているのではなかったですか。

**≪部会員≫**

ウィキペデアは、裏付けのあるデータで説明していく百科事典なのですが、ローカルウィキというものがアメリカから日本に入ってきて、日本で推進している人がいます。

それは、裏付けがなくてもどんどんそこに載せていこうというものです。

日本では室蘭が一番進んでおり、２年ほどで市民が１，５００ページくらい作りました。その中には、過去の歴史、自然、文化や行政のこと、そして未来のこともあります。それと思う一つ、景色の良い場所も載っています。

慣性を含めたものも載せられるものがローカルウィキの良いところです。

**≪事務局≫**

今、社会教育グループでマップを作ろうと思ったのは、既存のマップが少なくなっているので印刷をしなくてはならなくなったからで、皆さんがスマホを持っているわけではなく、高齢の方は紙媒体ではないと手に取れないという方もおりますので、やはり今年度中に予算の中でマップは作らなくてはいけないと思います。

ウェブ上で意見を反映させていくということについては、また別に考えて、今はマップの中で上手く反映できないかなと思います。

**≪部会長≫**

マップは業者から提供されて、業者がコンビニ等の情報を確認してくれて、既存のコースを使用するのであれば、直ぐにでも印刷できますよね。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

実際に現地を回る時間も含めて、発注を６月中に行い、夏場に業者が見て回れるよう計画していました。

それと同時進行で、今話されているようなことを精査していければ良いのかなと思います。

**≪部会員≫**

話は戻りますが、ＱＲコードでデータリンク先を作成するには時間がかかりますよね。

**≪部会長≫**

ホームページを作るみたいにやっていかなくてはいけないのでかかると思います。

**≪部会員≫**

この予算の中では厳しいですね。

**≪部会長≫**

今日来る前に情報処理科の先生と話をしてきましたが、今年工学院の２年生が少ないので卒業研究等で実施するのは難しいかもしれませんが、相談していただければ、１年生でできる子を選んで協力させることはやぶさかでないと話していました。

例えば、写真等のデータを提供いただければ、ページを作成すること等は可能だと思います。

**≪事務局≫**

それを市のサーバーに置いておけば良いのですね。

**≪部会長≫**

素材まで集めることはできませんが、素材があればある程度話に乗ってくれると思います。

**≪部会員≫**

素材については、我々もできる部分があれば１つでも提供させてもらうことはできると思います。

**≪事務局≫**

社会教育グループで今回９つのエリアを３つの地区にする際は、部会の意見を反映させる余地はあると話しましたので、あとはスジュールもありますが、どのようなアイデアをだして反映させていくかということになってくると思います。

**≪部会長≫**

たたき台があった方が話しやすいですね。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

どの程度の物が出てくるかはわかりませんが、５月中に業者からもらえる予定です。

**≪事務局≫**

最終的に、部会の意見をいつまでに出せば反映してもらえるのですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

納品自体は年度末までになされれば良いので、期間はあるのかなと思います。

**≪事務局≫**

ＱＲコードのリンク先については、素材さえ渡せば工学院の学生に手伝ってもらえるかもとの話もありましたので進められそうですね。

**≪部会員≫**

その際は、学校に対し依頼文書が必要になるのですか。

**≪部会長≫**

そうですね。学校長あてに提出いただければ良いと思います。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

基となる図面ができた段階でお知らせするということで良いですか。

**≪事務局≫**

次回は部会長・副部会長会議の後に開催したいと考えており、その頃には基になる図面もあると思いますので、それまでに社会教育グループではいつまでに意見を出せば反映させられるかというスケジュールを出していただければと思います。

【次回の取組について】

それぞれが自分の意見をまとめ、図面を基に具体的な話し合いを行う。

【次回会議について】

平成２９年６月２１日（水）１８時３０分から